

5. 共催・協力事業

センターには、さまざまな地域団体や行政などから事業への協力依頼があります。センター内でのように関わっていくのかを検討し、多くの場合、学生スタッフやコーディネーターが協働でそれらの依頼に対応しています。

事業名	NGO スタディツアー合同説明会
日時	夏季説明会：2015年6月13日（土）13時30分～17時00分 冬季・春季説明会：2015年11月14日（土）13時30分～17時00分
場所	夏季説明会：キャンパスプラザ京都 ホール 冬季・春季説明会：大阪梅田キャンパス 研修室
実施主体（共催）	特定非営利活動法人 関西 NGO 協議会、株式会社 マイチケット 龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
参加人数	夏季 95名／冬季・春季 65名

1. 経緯・目的

センターには年間を通して「海外でのボランティアに関心がある」「長期休暇中にスタディツアーに参加してみたい」「どんなスタディツアーがあるのか知りたい」という学生が多く来室します。

そこで、センターの提携団体である（特活）関西 NGO 協議会と、海外体験学習プログラム（p. ●参照）でも各種手配に携わっている（株）マイチケットとの共催で、スタディツアーを企画している NGO を集めて合同説明会を2009年度より継続開催しています。



2. 概要

■14：00-15：00 第1部

「スタディツアー…どんな団体が？ どこへ？ 何を学べる？」

参加 NGO がそれぞれどんなスタディツアーを行っているのか、行き先、プログラム、特徴などを参加団体よりプレゼンしていただきました。

■15：00-17：00 第2部

「NGO に直接きいてみよう —スタディツアーのこと」

参加 NGO（別表）が会場内にブースを設け、ブースごとに各団体それぞれの企画するスタディツアーについてブース来訪者に説明しました。説明会参加者はそれぞれ関心のある団体のブースを訪問し、団体の取り組みやツアー内容などを個別に質問します。出展団体以外のチラシや団体パンフレット等も設置し、参加者が手に取って比較・検討できるようにしました。

また16：30からは、ブースを訪れた印を集めた参加者を対象に、（株）マイチケット提供による旅行券や NGO などから提供された景品の抽選会を実施しました。

	ブース出展団体（訪問先）
6月	・ICYE ジャパン（インドネシア）
	・アクション（フィリピン）
	・アクセス—共生社会をめざす地球市民の会（フィリピン）
	・ウータン・森と生活を考える会（インドネシア）
	・環境保全ネットワーク京都（中国）
	・CFF ジャパン（フィリピン・マレーシア）
	・ジュレー・ラダック（インド共和国）
	・全国愛農会（インド共和国）
	・ツナミクラフト（タイ）
	・ニランジャナセワサンガ（インド）
	・PHD協会（ネパール・インドネシア・ミャンマー・タイ）

6月	<ul style="list-style-type: none"> ・マイチケット（タンザニア・海外旅行全般） ・関西 NGO 協議会（NGO 相談員）計13団体
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・緑の地球ネットワーク（中国） ・ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン（カンボジア） ・ニランジャナセワサンガ（インド） ・関西国際交流団体協議会（フィリピン） ・ベイ・フォワード倶楽部（ドイツ） ・CFF ジャパン（フィリピン・マレーシア・ミャンマー） ・PHD 協会（タイ） ・テラ・ルネッサンス（ラオス） ・アクション（フィリピン） ・ツナミクラフト（タイ） ・ウータン・森と生活を考える会（インドネシア） ・全国愛農会（インド） ・アクセスー共生社会をめざす地球市民の会（フィリピン） ・ムラのミライ（インド） ・関西 NGO 協議会（NGO 相談員） ・マイチケット（タンザニア・海外旅行全般） 計16団体

3. 参加者の声・得られた効果など

- ・ NGO の活動やスタディツアーについて知ることができたので参加してよかったです。
- ・ 学生時代に一度は海外に行ってみたく思っていたので参加した。たくさんの情報を収集できたので、じっくり行き先を考えたい。
- ・ とても勉強になりました。ボランティアには絶対行こうと思いました。
- ・ いろいろな団体の話を聞くことができ、とても濃い説明会でした。貴重な時間を過ごせたと思います。

4. コーディネーター所感

今年度も多くの来場者があり、スタディツアーへの関心の高さがうかがえました。行き先も様々な、多数の NGO から直接話が聞けるのは、スタディツアーに興味のある学生にとってまたとない機会になります。熱心に質問をする姿が会場内のあちこちで見られました。現地での活動の様子を紹介した映像コーナーは、非常にわかりやすく、興味をそそる内容でした。

今後も、より多くの人に参加しやすい会場設定や、場作りを進め、広報に力を入れていきたいと思っています。

〈報告者名：古澤 登美代

（瀬田キャンパス コーディネーター）

事業名	セーフトラベルセミナー2016
日時	2016年3月19日（土）10時00分～17時00分
場所	大阪梅田キャンパス 研修室
実施主体（共催）	特定非営利活動法人関西 NGO 協議会／株式会社 マイチケット 龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター
参加人数	26名

1. 経緯・目的

センターでは、2007年度より、海外の国・地域で起こっている問題やその解決に向けた活動について現地の NPO・NGO との交流を通して、ボランティア等の体験学習を行うことにより、異文化間における相互理解と共生を学ぶための「海外体験学習プログラム」を実施しています。本学の専任教員がコーディネーターとなり企

画・引率する学内企画と、NGO が実施するスタディツアーから選定する学外企画があり、2015年度には合わせて17名の本学学生が参加しました。

また、センターでは「スタディツアー」について学生から相談を受けることも多く、スタディツアーを開催している NGO を紹介することもあります。

海外での「体験学習プログラム」や「スタディツアー」の目的地は感染症発生地域であることもあり、また事故が発生する可能性もあります。万一、感染症や事故に出会ってしまうと難しい緊急対応を迫られることから、感染症・事故に対する危機管理・対応は、海外での体験学習プログラムやスタディツアーを企画・運営する大学やNGOにとって避けて通れない課題であるといえます。

また、「体験学習プログラム」や「スタディツアー」には、様々な目的意識や背景、特性をもった参加者が参加することから、参加者の状況を把握し、充実したスタディツアーを運営するために、具体的な事例や最新情報から企画・運営・引率担当者が学び合うことが求められます。

そこで、安全でより充実した「体験学習プログラム」や「スタディツアー」の実施の為に、大学の海外体験学習・実習等やNGOのスタディツアーの企画・運営・引率担当者のレベルアップを図ることを目的として、セーフトラベルセミナーを開催しました。開催にあたっては、関西を拠点とする国際NGOの連合体である特定非営利活動法人関西NGO協議会、スタディツアーを数多く主催し実績のある株式会社マイチケット、そして龍谷大学との三者共催で実施し、医師と旅行保険、旅行業法のスペシャリストを講師に招いて学びました。



2. 概要

第1部 基礎編「旅行業法、旅行保険、感染症の基礎知識」

第2部 テーマ編「セクシャルハラスメントや持参すべき薬箱などについて」

講師：宮川 眞一氏

(公社)日本キリスト教海外医療協力会
元バングラデシュ派遣医師、心療内科医
副島 大典氏 AIU 損害保険株式会社
山田 和生氏 株式会社 マイチケット
対象：大学・高校およびNGOのスタディツアー、
海外研修、フィールドワークの企画担当者

3. 参加者の声・得られた成果など

- ・これからスタディツアーを企画しようという段階なので大変勉強になった。基本的な事例を伺い、想定しなかったことに気づくことができた。
- ・薬のリストは非常に役立ちそうだった。
- ・セクハラの実例が思った以上に多いことに驚いた。
- ・セクハラについては、もう少し議論の時間を設ければ、様々な視点からの意見が出たのではないかと。
- ・予防接種、特にマラリアに関して考え方が変わった。
- ・自分たちの体制をもう一度見直したい。
- ・セクハラについてヒアリングが大切な事、また、現地側でオリエンテーションをしてもらうなどの対策方法があるということが学べた。

4. コーディネーター所感

今回は初めて4名のボランティアコーディネーターが揃って参加することができました。全員が基礎知識を学べたことで、海外体験学習プログラムやNGOスタディツアー合同説明会の担当でなくても、窓口での対応等に活かしていけると思います。基礎編はもちろんのこと、テーマ編ではセクシャルハラスメントに関して事例を交えながらの講義で大変参考になりました。本学のセンターの海外体験学習プログラムにおいても、事前学習会で具体的に事例を挙げて説明し、もしもの場合のシミュレーションをする必要性を改めて感じた。

アンケート結果を見ると、参加されたNGOや各大学の担当者にとって、このセミナーが大変有意義であったことがわかります。今後も継続していきたいと思います。

〈報告者：古澤 登美代

(瀬田キャンパス コーディネーター)〉

その他の地域イベントなどへの出展・協力

センターでは、これまで報告してきた事業以外に、随時イベント等へ出展、協力を行いました。

■地蔵盆・夏祭りに協力（深草）

日 時：2015年8月22日（土）、23日（日）
場 所：学校近隣地域（川久保町自治会、西浦町2丁目自治会等）
内 容：京都の伝統的な夏の行事「地蔵盆」で、子どもの遊び（竹水鉄砲、的あてなど）を担当して夏の一日を盛り上げました。



■アビリンピック京都大会（障害者技能競技大会）に協力（深草・瀬田）

日 時：2016年1月30日（土）
場 所：京都府立高等技術専門校
内 容：障がいのある方の職業技能種目で正確性やスピードを競う大会で、競技者の介助や運営の補助を行いました。



■瀬田東学区文化祭自主防災会ブースへの出展協力（瀬田）

日 時：2015年10月24日（土）
場 所：大津市瀬田東支所
内 容：東日本大震災復興支援活動、台風18号の際の災害復旧ボランティア活動についてのポスター展示を行いました。



■京都マラソン2016に協力（深草・瀬田）

日 時：2016年2月21日（日）
場 所：京都市岡崎公園
内 容：学生32名が、ゴールでの「完走証」の発券作業を行いました。完走直後のランナー16,000人と間近に接し、感動が共有でき、貴重な経験となりました。

